



## G7 教育大臣会合 富山・金沢宣言

### well-beingに注目して抜粋

#### 基本的な考え方

ウェルビーイング追求の  
機会の提供を支援する  
強靱な教育システムの構築

教育の場面での  
ウェルビーイング実現

#### 取組みの方向性

子供たちのウェルビーイングを  
高める学校の役割の発揮

子供の心の健康、  
ウェルビーイングを支える  
専門的職員・教師の連携

子供たち一人ひとりの  
ウェルビーイング向上のための  
包摂的・公平、質の高い教育  
へのアクセス保障  
そのための個別最適な学び、  
互いに学び合う機会の確保

教師のウェルビーイングを  
支える文化構築・環境づくり

#### 認識の共有

調和と協調に基づく  
ウェルビーイングのアプローチ

子供たちのウェルビーイング  
を考慮した科学的根拠  
を踏まえたアプローチ

精神的なウェルビーイングを  
促進・支援する  
安全かつ協力的な学習環境

前回日本で開催され  
たG7倉敷教育大臣  
会合（2016年）  
※[リンク](#)  
の「倉敷宣言」にも  
well-beingが既に登  
場しているね。



その時は、3回  
出ている。  
日本語仮訳では、  
「生きがい」や  
「幸福感」、「福祉」  
とそれぞれ訳されて  
いるね。



その点、今回は9回  
登場し、存在感が高  
まっているし、日本語  
仮訳も無理に訳さず  
「ウェルビーイング」と  
カタカナ表記で統一  
されているね。



最後のほうにある  
「調和と協調」って  
なに？



国が言う「日本社会  
に根差した  
ウェルビーイング」  
って？

それは次号で  
見ていきま  
しょう！



## 教育とウェルビーイング①

### G7富山・金沢教育大臣会合

#### 子供たちのウェルビーイングを支え・高める 教育の重要性が随所に

G7 富山・金沢教育大臣会合（2023年5月12～15日）の  
成果である「**富山・金沢宣言**」には、「**ウェルビーイング（well-being）**」の向上策が盛り込まれたことが大きな話題になりました。

では、宣言には、実際どのようにウェルビーイングが書き込まれた  
のでしょうか？

ウェルビーイングの言葉は宣言文の中に **9回も登場**しており、**子供たちのウェルビーイングを支え高める教育の重要性**が様々な  
面から明記されています（右記）。また、**教師のウェルビーイング**  
にも着目しています。

国は、宣言の内容を実行に移していくため、「施策推進パッケージ」を策定。その中で、「**日本社会に根差したウェルビーイングの向上**」（児童生徒の主観的ウェルビーイングに係る実態把握、学校教育や生涯学習・社会教育を通じた個人と社会のウェルビーイング向上）などに取り組むとしています。